TOSHIBA

東芝デジタルスチルカメラ取扱説明書

形名 PDR-T10

● 取扱説明書をお読みになる前に ●

このたびは東芝デジタルスチルカメラ PDR-T10 をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めの製品を正しく使っていただくためにお使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

製品につきましては万全を期しておりますが、万一製造上の原因による不良品がありましたらお取替えいたします。それ以外につきましてはご容赦ください。

意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

商標について

・MS-DOS、Windows、Windows 98、Windows 2000、Windows ME、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
・Macintosh は、Apple computer, Inc. の登録商標です。
・Image Expert は、Sierra Imaging 社の登録商標です。
・SD ロゴは商標です。
・その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

SD ™

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

著作権についてのご注意

デジタルスチルカメラで記録したものは、個人として楽しむことなどを除いては、著作権法上、権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等行うことはできません。

なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルが記録されたメモリーカード(SD メモリーカード等)の転送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

用語について

Windows 98
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を示します。
Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版を示します。
Windows ME
Microsoft® Windows® ME operating system 日本語版を示します。
Windows XP
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を示します。

● ソフトウェアについて ●

この取扱説明書では同梱されているソフトウェアのインストール方法とソフトウェアアプリケーションの簡単な使い方を説明しています。詳しい使い方は、ソフトウェアアプリケーションのヘルプファイルをご覧ください。

この取扱説明書はお客様がお使いのパソコンの基本的な使用方法に関する知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンの基本的な使用方法については、お使いのパソコンまたは OS の取扱説明書をご覧ください。

付属のソフトウェアについて

付属の CD-ROM には、以下のソフトウェアが収録されています。

・ 画像閲覧ソフトウェア Image Expert
　撮影した画像をパソコンで見ることはもちろん、画像の加工や修正もできます。詳しい操作方法はヘルプファイルをご覧ください。
　☞ 画像閲覧ソフトをインストールする ➲ 42 ページ

・ USB ドライバ（Windows 98 専用）
　付属の USB ケーブルを使用して、カメラとパソコンを接続するときにインストールします。このドライバは Windows 98 専用です。Windows 2000/ME/XP および Macintosh をお使いのお客様は、各 OS の標準ドライバをご使用ください。
　☞ USB ドライバをインストールする ➲ 43 ページ

・ サービス＆サポートファイル
　サービスおよびサポートに関する情報が記載されています。
　取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
　☞ アフターサービスについて ➲ 56 ページ

・ ソフトウェアのバージョンアップについて
　出荷以降、より良くお使いいただくために、カメラ内部のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などは弊社ホームページに掲載いたします。
　弊社ホームページＵＲＬ http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

ソフトウェアおよび取扱説明書について

・ 添付のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
・ 添付のソフトウェアおよび取扱説明書は、1 台の機器について使用できます。
・ 添付のソフトウェアおよび取扱説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
・ 取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

● 安全上のご注意 ●

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示および図記号の説明

表　示	表示の意味
⚠危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつ、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること”を示します。

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
⃠	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
●	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

免責事項について

- 地震、火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身又は権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に関し、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

⚠危険

電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

禁止

電池をハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

禁止

⚠警告

異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

異物や水などが機器の内部に入ったときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

⚠警告（つづき）

機器を落としたり、ケースを破損したときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。

禁止

金属類や燃えやすい物など異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。電池収納部や端子、その他の穴や隙間に、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。

禁止

分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

● 安全上のご注意（つづき）●

⚠警告（つづき）

雷が鳴りだしたら電源配線に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

歩行中、自動車、オートバイなどを運転中に使用しないこと

転倒・交通事故の原因となります。

禁止

指定の電池、指定の AC アダプターを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・故障・誤動作の原因となります。

指示

電池は幼児の手の届く場所に置かないこと

電池をお子さまが飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

禁止

電池の液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

指示

電源プラグは AC100V コンセントに差し込むこと

AC100V 以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

⚠注意

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと

航空管制上、使用が制限される場合があります。

指示

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となることがあります。

禁止

車の中など温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

布や布団の上に置いたり、覆ったりしないこと

熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

禁止

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

指示

落としたり、強い衝撃を与えないこと

火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

⚠注意（つづき）

お手入れするときは、電池やACアダプターをはずすこと

指示

取りつけたまま行うと、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは電池やACアダプターをはずすこと

指示

火災の原因となることがあります。

電池の極性表示（＋と－の向き）に注意し、正しく入れること

指示

入れ方を間違えると、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

目の近くでストロボを発光させないこと

禁止

一時的な視力障害の原因となることがあります。

持ち運ぶときに振り回さないこと

禁止

ストラップを持ってカメラをぶらぶらさせると、人や物にぶつけたりしてけが・故障の原因となることがあります。

⚠注意（つづき）

使用済みの電池は電極カバーをつける、またはプラス（＋）とマイナス（－）にテープをはるなどして保管、廃棄すること

指示

そのまま保管、廃棄すると金属類でのショートにより、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

液晶モニターに衝撃を与えないこと

禁止

破損したり、ガラスが割れたり内部の液がでてくることがあります。内部の液が目に入ったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、その後医師の治療を受けてください。

2年に1度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください

指示

機器の内部にほこりがたまると、火災・故障の原因となることがあります。掃除費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意（つづき）

電池交換時は、２つの電池全てを新しいものと交換すること

指示

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、重大な障害、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。
新しい電池とは、ニッケルまたはリチウム電池の場合は「最近購入した使用推奨期限内の未使用電池」、ニッケル水素またはニッカド電池の場合は「最近同時に充電した電池」を意味します。

タイプの異なる電池または古い電池と新しい電池を一緒に使用しないこと

禁止

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、重大な障害、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。

長時間カメラを使用した直後に電池を取り出さないこと

禁止

電池が熱くなっているため、やけどの原因となるおそれがあります。

⚠注意（つづき）

使えないまたは放電した電池をカメラの中に入れっぱなしにしないこと

禁止

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、重大な障害、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。

付属の CD-ROM を普通の CD プレーヤーで再生しないこと

禁止

ヘッドフォンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。

● もくじ ●

はじめに

準備する

撮影する

再生／消去する

パソコンに接続する

その他

付録

● カメラの取り扱いについて ●

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➲５ページ）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

次のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところ
- 高温または低温のところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

砂がかからないようにしてください

- 砂はカメラの大敵です。砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
  海辺や砂地、砂ぼこりが起こる場所などでは、特にご注意ください。

結露にご注意ください

- カメラを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
  その場合は電源を切り、１時間ほどたってからお使いください。また、SD カードに水滴がついたときは、カメラから取り出し、水滴をふき取った後しばらくたってからお使いください。

お手入れするときは

- レンズ、液晶モニター表面などは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

クレジットカードを近づけないでください

- カメラの前面には磁石が使用されています。クレジットカードなどの磁気カードを近づけないようにご注意ください。データが破壊（消滅）することがあります。

● 電池について ●

推奨電池

カメラの性能を充分に引き出すために下記の電池の使用を推奨します。
- 単三形ニッケル乾電池(充電不可)： ZR6G（東芝製「GigaEnergy」）
- 単三形ニッケル水素電池(充電可能)： TH-3（東芝製）
  カメラ本体に充電機能はありません。ニッケル水素電池を充電する場合は、市販の充電器をご利用ください。
- 単三形リチウム電池(充電不可)
- CR-V3 リチウム電池パック(充電不可)

単三形ニッケル乾電池は、東芝製「GigaEnergy」をご使用ください。
「GigaEnergy」はデジタルスチルカメラに最適な次世代乾電池で、従来のアルカリ乾電池に比べて性能が大幅にアップしています。

推奨電池以外の電池について

単三形マンガン乾電池はご使用になれません。
単三形アルカリ乾電池は応急用として使用できますが、数枚程度の撮影しかできません。また、低温ではご使用になれません。
ご購入の際には十分ご注意ください。
単三形ニッカド電池は、環境への配慮から推奨しておりません。

電池寿命について

電池のメーカーや保存期間、カメラや電池の温度、撮影条件（ストロボ使用の有無等）により、電池寿命は大きく変動します。また、電池の＋極、−極、および電極に接するカメラの端子が汚れておりますと、電流が流れにくくなり、カメラは電池残量がないものと判断してしまいます。電池を出し入れするときには、これらの部分に触らないようにご注意ください。汚れていた場合は、乾いた布などで汚れをふき取ってください。
付属のニッケル乾電池を使用した場合、以下のようになります。

条　　件　：25℃、ストロボ使用率 100%
撮影間隔　：30 秒ごとに 1 枚撮影
撮影枚数　：70 枚
※ここに記載した撮影枚数は参考値です。

電池の上手な使い方

カメラは電源を切った状態でも微弱な電流を消費します。長時間使用しない場合は電池を取り外しておくことをおすすめします。ただし、日付・時刻が初期設定に戻りますので、ご使用前に再度設定してください。寒冷地で使用するときは、カメラや電池を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。
電池の性能は低温時に低下し撮影できる枚数が少なくなりますが、25 ℃程度の常温に戻ると回復します。

● AC アダプターについて ●

このカメラには、必ず指定の AC アダプター（別売）をご使用ください。それ以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➲ 5 ページ）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- AC アダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは、コードのプラグをカメラの DC IN 5V 端子にしっかり差し込んでください。それ以外の端子に差し込むと故障の原因となることがあります。
- 接続コードを抜くときは、カメラの電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 電池動作中に AC アダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- AC アダプターは室内専用です。
- AC アダプターは指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC アダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。
- カメラが動作中に電池または AC アダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。日時を設定し直してください。

仕様

AC アダプター（PDR-AC20）

電源	:	AC 100 ～ 240V　50/60Hz
定格入力容量	:	AC100V 33VA（電気用品安全法）
定格出力	:	DC5V 3A
使用温度	:	0℃～ +40℃
保存温度	:	－20℃～ 65℃
最大外形寸法	:	40 X 30.5 X 94.2mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量	:	約 150g
接続コード長さ	:	約 1.5m
付属品	:	取扱説明書 AC コード

重要 ・付属の AC コードは国内向けです。海外で使用する場合は使用する地域の規格に適合した AC コードをご使用ください。

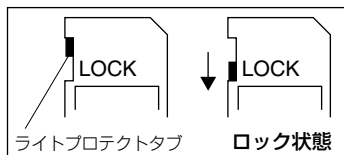
● SD カードについて ●

このカメラでは、記録媒体に SD メモリーカードを使用しています。取扱説明書の中では SD メモリーカードを「SD カード」とよんでいます。
付属の SD カードの取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

ご使用上の注意

・SD カードは不揮発性の半導体メモリー（NAND 型フラッシュ EEP-ROM）を内蔵しています。通常のご使用で記録したデータが破壊（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊（消滅）することがあります。記録されたデータの破壊（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・SD カードはメモリーの一部を SD カードに基づくシステム領域として使用するため、ご使用いただけるメモリー容量は表示の容量より少なくなっています。
・SD カードはフォーマット済みですので、そのままご使用になれます。画像やフォルダを消去するためにフォーマットする場合は、必ずカメラでフォーマットを行ってください。他の機器（パソコン等）でフォーマットを行うと、データの書きこみや読み出しができない、あるいは書きこみ速度が遅くなるなどの不具合が発生することがあります。
・大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。

誤消去防止について

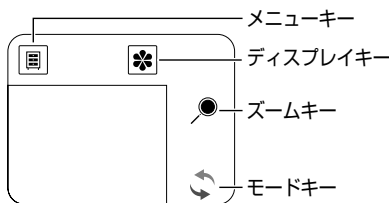
大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK 」に切り換えると、書き込み禁止状態（ロック状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

仕様

メモリーの種類　：NAND 型フラッシュメモリー
動作温度　　　　：0 ～ 55 ℃
保存温度　　　　：－ 20 ～ 65 ℃
動作 / 保存湿度　：30 ～ 80%RH
上記範囲でも、結露するような温度変化は与えないでください。
外形寸法　　　　：24.0 X 32.0 X 2.1mm （幅 X 奥行き X 高さ）
質量　　　　　　：約 2g

● タッチパネルについて ●

このカメラは、POWER スイッチおよびシャッターボタン以外の入力操作をタッチパネルによって行います。

タッチパネルの採用で操作性が向上し、外観もボタン類がなくなってすっきりしたデザインとなりました。

また、独立させた４つのキーアイコンに特別な機能を持たせました。それぞれの機能につきましては、下の参照ページをご覧ください。

・タッチパネルは指でも操作できますが、付属のスタイラスペンを使用すると操作ミスを軽減できます。

重要
・タッチパネルを強く押さえたり爪や硬いもの、先のとがったもので操作しないでください。タッチパネルを傷つけることがあります。
・タッチパネルに格子状の線が見えますが、異常ではありません。

[ ] メニューキー（➲ 32、38、46 ページ）

撮影メニュー、再生メニュー、セットアップメニューを表示します。

撮影メニュー： カラー、ISO 感度、露出補正、ホワイトバランス、画質、プレビュー、液晶の明るさ

再生メニュー： 液晶の明るさ、DPOF、表示の切換、スライドショー、プロテクト

セットアップ： リセット、LANGUAGE、自動モード切換、日時設定、サウンド、タッチセンサー、オートパワーオフ、バージョン情報、フォーマット

[✽] ディスプレイキー（➲ 25、34 ページ）

画面上の文字やアイコンの表示 / 非表示を切り換えます。また、アイコンを表示させているときは、以下の設定を行うことができます。

撮影モード時： シーンモード、ストロボ、セルフタイマー

再生モード時： サムネイル表示、画像の消去

[ ] ズームキー（➲ 31、37 ページ）

ズームを行います。

撮影モード時： デジタルズーム撮影を行います。

再生モード時： ズーム再生を行います。

[ ] モードキー（➲ 23 ページ）

撮影モードと再生モードを切り換えます。

撮影モード時： 再生モードになります。

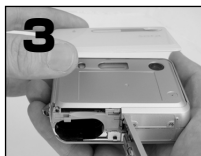
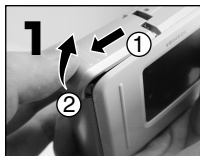
再生モード時： 撮影モードになります。

● 各部のなまえ ●

重要 ・カメラ前面には磁石が使用されています。クレジットカードなどの磁気カードを近づけないようにご注意ください。

● フェースパッドをつけ換える ●

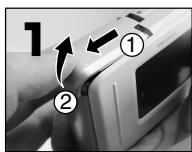
このカメラはお好みに合わせてフェースパッドをつけ換えることができます。フェースパッドはさまざまな種類のものをご用意しておりますので、お近くの販売店でお求めください。フェースパッドをつけ換えるときは、カメラを落とさないようにご注意ください。

フェースパッドをはずす

① **電池 /SD カードカバーを開けます。**

電池 /SD カードカバーをスライドさせ ①、開けます ②。

② **フェースパッドの下側からはずします。**

③ **フェースパッド上部のツメをはずします。**

フェースパッドをつける

① **電池 /SD カードカバーを開けます。**

② **フェースパッド上部のツメを本体に掛けます。**

③ **フェースパッドの下側をパチンと音がするまでしっかりと本体にはめます。**

本体とフェースパッドの間にすき間がないことをご確認ください。

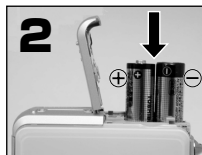
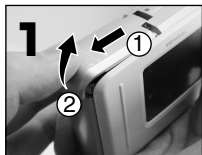
④ **電池 /SD カードカバーを閉めます。**

電池 /SD カードカバーを閉め ①、スライドします ②。
カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

● 電池を入れる・取り出す ●

単三形電池２本使用します。マンガン電池はご使用になれません。
電池を入れる前に、「電池について」（➲ 12 ページ）をよくお読みください。

電池を入れる

重要
・AC アダプターをつないでいる場合は、電源がオフになっていることをご確認ください。
・正常な終了動作をしていない状態で電池を装着した場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。

① 電池 /SD カードカバーを開けます。

電池 /SD カードカバーをスライドさせ ①、開けます ②。

② 図のように正しい向きで電池を入れます。

③ 電池 /SD カードカバーを閉めます。

電池 /SD カードカバーを閉め ①、スライドします ②。
カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

電池を取り出す

重要
・電池を取り出すときは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。電源が入った状態で電池を取り出すと、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。

電池残量表示

電源がオンの状態では、液晶モニターに電池残量が表示されます。

表示				
意味	電池残量十分	電池残量半分以下	電池残量わずか	電池残量なし

重要
・初めて使うとき、または電池を入れずに放置したときは、日時設定（➲ 22 ページ）を行ってください。

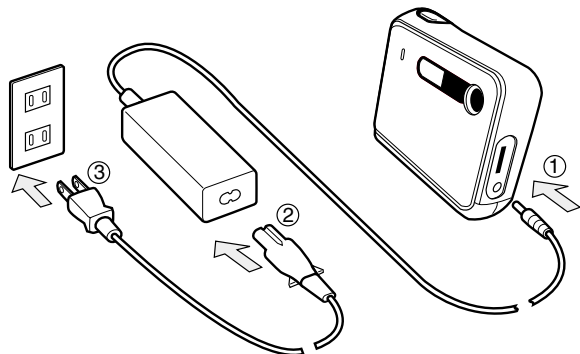
● AC アダプターを使う ●

屋内などコンセントがある場所では、AC アダプター（別売）を使うと長時間使用することができます。また、電池消耗による撮影の失敗やパソコンへのデータ転送の失敗などを防ぐことができます。AC アダプターの取り扱いについては、「AC アダプターについて」（➲ 13 ページ）をよくお読みください。

重要

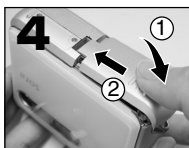
・AC アダプターの抜き差しは必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。電源が入った状態で行うと、電池が入っている状態であっても、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。

・正常な終了動作をしていない状態で AC アダプターを使用した場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。

・カメラ本体を用いて電池を充電することはできません。ニッケル水素電池などを充電する場合は、市販の充電器をご利用ください。

1. AC アダプターの接続プラグをカメラの DC IN 5V 端子に差し込みます。
2. AC アダプターと AC コードを接続します。
3. AC アダプター電源プラグをコンセントに差し込みます。

● SDカードを入れる・取り出す ●

重要

・SDカードの取り扱いについては、「SDカードについて」(➲14ページ)を必ずお読みください。
・SDカード抜き差しは必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。電源が入っている状態で行うと、故障や大切なデータが壊れる原因となる場合があります。
・このカメラはMultiMediaCard™(マルチメディアカード)には対応しておりません。

SDカードを入れる

① カメラの電源が入っていないことを確認します。

電源が入っている場合は、電源をオフにしてください。
☞ 電源を切る ➲21ページ

② 電池/SDカードカバーを開けます。

電池/SDカードカバーをスライドさせ①、開けます②。

③ 図のように正しい向きでSDカードを入れます。

しっかり奥まで差し込んでください。

④ 電池/SDカードカバーを閉めます。

電池/SDカードカバーを閉め①,スライドします②。
カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

SDカードを取り出す

① カメラの電源が入っていないことを確認します。

電源が入っている場合は、電源をオフにしてください。
☞ 電源を切る ➲21ページ

② 電池/SDカードカバーを開け、SDカードを取り出します。

SDカードをいったん奥に押しこむとSDカードが少し手前に出てきます。

重要

・SDカードへ記録中(インジケーターが赤点灯中)は、絶対に電池/SDカードカバーを開けたり、SDカードを取り出さないでください。SDカードまたはSDカードのデータが破壊されることがあります。

● 電源を入れる・切る ●

電源を入れる

① 電池と SD カードを入れます。

☞ 電池を入れる（➲ 18 ページ）
☞ SD カードを入れる（➲ 20 ページ）

② POWER スイッチを矢印の方向にスライドします。

インジケーターが点灯し、撮影モードで起動します。

何も操作をせずに一定時間が経過すると、オートパワーオフが働きます。オートパワーオフとは、電池の消耗を防ぐために電源が切れた状態になる機能です。通常の状態に戻すには、POWER スイッチをスライドしてください。

オートパワーオフの初期設定は 1 分です。

☞ オートパワーオフ ➲ 47 ページ

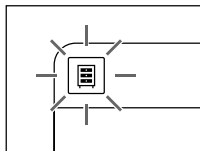
重要 ・電源を入れたとき、ストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが赤点滅し、液晶モニターがオフになります。ストロボ充電中は撮影できませんので充電が完了してから撮影してください。

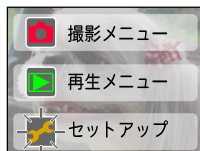
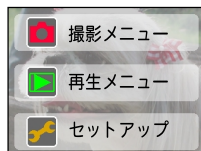
電源を切る

① POWER スイッチをスライドします。

重要 ・正常に電源が切れるまでインジケーターが赤点灯します。インジケーター点灯中は絶対に電池 /SD カードカバーを開けたり、電池や SD カードを取り出したりしないでください。

● 日付・時刻を合わせる ●

カメラを初めて使用するときや、電池を入れずに放置したときは、日付と時刻を設定してください。

① [ ]メニューキーにタッチします。

メニューアイコンが表示されます。メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチしします。

② [ ] セットアップにタッチします。

セットアップメニューが表示されます。メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

③ [ ]、[ ] アイコンにタッチして、日時設定画面を表示させます。

④ 中央の[設定する]にタッチします。

⑤ 変更する部分をタッチして選択し、[+]と[–]で変更します。

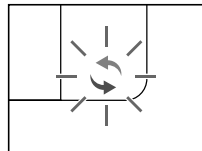
⑥ 現在の日時に変更したあと、「OK」にタッチします。

現在の時刻が設定され、日時設定画面に戻ります。

● モードを切り換える（撮影←→再生）●

このカメラで撮影モードと再生モードを切り換えるには、２つの方法があります。

モードキーを使う

モードキーにタッチするたびに、撮影モードと再生モードが切り換わります。

タッチセンサー / 自動モード切換機能を使う

このカメラは、タッチセンサー / 自動モード切換機能を備えています。
ここでタッチセンサー機能と自動モード切換機能について説明します。

● シャッターボタンに触れると・・・（タッチセンサー機能）

再生モードのときに撮影しようとしてシャッターボタンに触れると撮影モードに切り換わります。これを「タッチセンサー機能」といいます。シャッターボタンは人の指が触れたことを感知します。初期設定ではオフになっています。

☞ タッチセンサー ➲ 47 ページ

重要

・タッチセンサー機能を使用するときは素手でシャッターボタンに触れてください。手袋を着用したり、絆創膏を貼った指で触れると正しく動作しないことがあります。

・人や天候によってはタッチセンサーが感知しにくい場合があります。

● 撮影すると・・・（自動モード切換機能）

撮影後、シャッターボタンから指を離して設定した時間が経過すると再生モードに切り換わります。これを「自動モード切換機能」といいます。切り換え時間は、２秒から 30 秒までお好みに合わせて設定できます。初期設定ではオフになっています。

☞ 自動モード切換 ➲ 46 ページ

「タッチセンサー機能」と「自動モード切換機能」はお好みの設定でご使用ください。

重要

・電池を入れずに放置した後では、タッチセンサー機能と自動モード切換機能が初期設定（オフ）に戻ることがあります。この場合は、再度設定してください。

● 撮影する ●

① 電池とSDカードをカメラに入れ、電源を入れます。

撮影モードで起動します。

② 液晶モニターを見ながら構図を決めます。

液晶モニターが暗い場合は、明るさ調整を行ってください。

☞ 液晶モニターの明るさ ➲ 33ページ

③ シャッターボタンを半押しします（ハーフシャッター）。

ハーフシャッターで自動ピント合わせ（オートフォーカス）と自動露出制御を行います。露出とは、絞り（光量調整機構）とシャッタースピードの組み合わせのことです。

ハーフシャッターでピントと露出が適正値でロックされると、高い音が鳴りインジケータが緑点灯します。ピントまたは露出が適正値にならなかった場合は、低い音が鳴りインジケーターが赤点滅します。この場合、ピントは無限遠（ストロボ使用時は1.5m）、露出は一番近い値にロックされます。

④ 半押しの状態からシャッターボタンをさらに押します（フルシャッター）。

撮影されます。撮影するときは、指やストラップがレンズやストロボにかからないようにご注意ください。

ハーフシャッターを行わずにいきなりフルシャッターにすると、ピントと露出がロックするまで撮影されません。シャッターチャンスを逃さないためにも、ハーフシャッターを行うことをおすすめします。

- SDカードへ記録している時は、インジケーターが赤点灯します。インジケーター点灯中は、電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。SDカードやSDカードのデータが破壊される場合があります。
- ストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが赤点滅し、液晶モニターがオフになります。ストロボ充電中は撮影できませんので、充電が完了してから撮影してください。
- 撮影された画像は、液晶モニターに映っている範囲より左右が広めに記録されます。

- 自動モード切換が設定されていると、撮影後、シャッターボタンから指を離して設定した時間が経過すると自動的に再生モードに切り換わります。続けて撮影する場合は、撮影モードに切り換えてください。

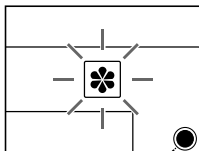
☞ モードを切り換える（撮影←→再生）➲ 23ページ
☞ 自動モード切換 ➲ 46ページ

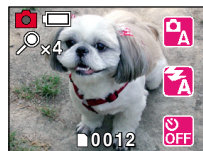
撮影インフォメーションを表示する

撮影インフォメーションを表示すると、撮影モードでのカメラの状態がわかります。また、シーンモード、ストロボ、セルフタイマーの設定を変更するときも、撮影インフォメーションを表示してから行います。

☞ シーンモードを設定する ➲ 26 ページ
☞ ストロボを設定する ➲ 28 ページ
☞ セルフタイマーで撮影する ➲ 30 ページ

撮影モードの状態で・・・

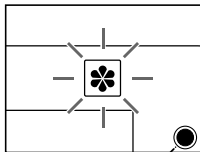
☞ モードを切り換える ➲ 23 ページ

① **[✽]ディスプレイキーにタッチします。**

撮影インフォメーションが表示されます。
もう一度 [✽] ディスプレイキーを押すと、撮影インフォメーションが非表示になります。

> **メモ**
> ・液晶モニターには常に明るい点、暗い点、色がついている点などがある場合がありますが、故障ではありません。また記録される画像には、このような点はありません。
> ・被写体の違いにより記録される画像のデータ量が一定ではないため、撮影後、撮影可能枚数が減らない、または 2 枚分減ることがあります。

● シーンモードを設定する ●

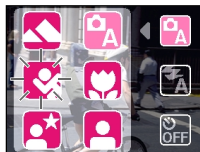
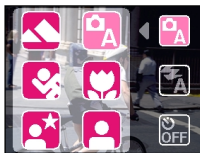
撮影する状況に応じたシーンモードを選択することにより、カメラが最適な設定を自動的に行います。初期設定は[ ] オートになっています。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 23 ページ

① [✽] ディスプレイキーにタッチします。

撮影インフォメーションが表示されます。初期設定ではすでに表示されていますので、この操作は不要です。

② [ ] シーンモードアイコンにタッチします。

シーンモード選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [ ] シーンモードアイコンにタッチすると、一覧表示が消えて元の設定が保持されます。

③ 撮影する状況に最適なシーンモードを選び、そのアイコンにタッチします。

選択したシーンモードアイコンが表示されます。

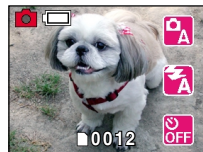
それぞれのシーンモードについては、27 ページをご覧ください。

メモ ・シーンモード設定は、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働いても解除されません。

シーンモードについて

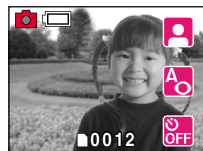
シーンモードには、次の６種類があります。

[ ] オート

初期設定です。特別な設定は行いません。
使用可能なストロボ：すべて

[ ] マクロ

距離が 20cm ～ 40cm の被写体を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 発光禁止 [ ] 強制発光

[ ] ポートレート

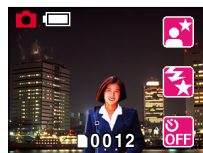
人物を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 赤目軽減オート
[ ] 赤目軽減強制発光

[ ] 風景

遠くの景色や風景を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 発光禁止

[ ] スポーツ

動きの速い被写体を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] 発光禁止

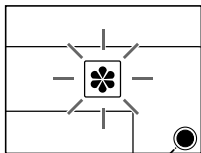
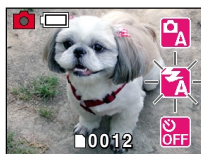
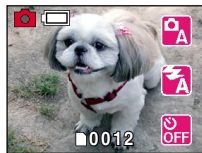
[ ] 夜景

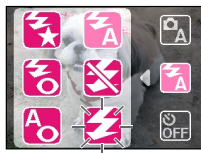
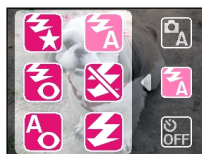
夕暮れや夜景を背景にして人物を撮影したいときに選びます。
使用可能なストロボ：[ ] スローシンクロ

準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

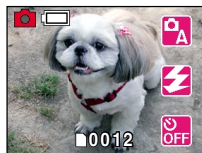
ストロボを設定して撮影します。
初期設定は [ ] オートになっており、暗いところでは自動的に発光します。撮影する状況に応じてストロボの設定を行ってください。ストロボの光が届く範囲は、0.4m ～ 2.0m です。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 23 ページ

①

撮影インフォメーションが表示されます。初期設定ではすでに表示されていますので、この操作は不要です。

② **[ ] ストロボアイコンにタッチします。**

ストロボ選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [ ] ストロボアイコンにタッチすると、一覧表示が消えて元の設定が保持されます。

③ **お好みのストロボ設定を選び、そのアイコンにタッチします。**

選択したストロボアイコンが表示されます。

それぞれのストロボ設定については、29 ページをご覧ください。

・ストロボ充電に数秒かかることがあります。ストロボ充電中はインジケーターが赤点滅し、液晶モニターがオフになります。ストロボ充電中は撮影できませんので、充電が完了してから撮影してください。

メモ

・背景が暗いところで [ ] スローシンクロで撮影する場合や、暗い場所で [ ] 発光禁止で撮影する場合は、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれ防止のために、台の上などに固定して撮影することをおすすめします。
・ストロボ設定は、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働いても解除されません。

ストロボについて

ストロボ設定には、次の６種類があります。

[ ] オート

初期設定です。状況に応じてストロボが自動的に発光します。

[ ] 発光禁止

ストロボは発光しません。室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボの光が届かない距離での撮影に使用します。

[ ] 強制発光

必ずストロボが発光します。逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影に使用します。

[ ] スローシンクロ

シャッタースピードを遅くして、同時にストロボも発光します。逆光、蛍光灯などの人工照明下や、夜景をバックにした人物など、被写体だけでなく背景もきれいに写したいときに使用します。

[ ] 赤目軽減強制発光

赤目現象とは、暗いところで人物をストロボ撮影した場合に目が赤く写る現象で、ストロボの光が目の中で反射するために起こります。赤目軽減強制発光にすると、ストロボは必ず発光し、さらに赤目現象を軽減する効果があります。赤目軽減は、写される人にカメラへ視線を向けてもらったり、なるべく近づいて撮影したりすると効果があがります。

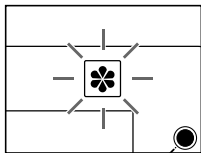
[ ] 赤目軽減オート

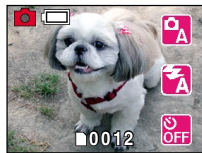
状況に応じて自動発光し、さらに赤目現象を軽減する効果があります。

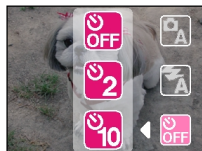
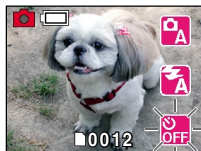
● セルフタイマーで撮影する ●

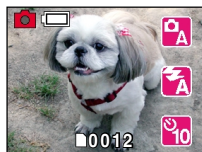
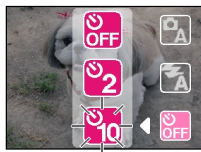
セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押してから 10 秒後または 2 秒後（設定によって変更可能）に自動的に撮影されます。

撮影モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 23 ページ

① [✽] ディスプレイキーにタッチします。

撮影インフォメーションが表示されます。初期設定ではすでに表示されていますので、この操作は不要です。

② [OFF] セルフタイマーアイコンにタッチします。

セルフタイマー選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [OFF] セルフタイマーアイコンにタッチすると、一覧表示が消えて元の設定が保持されます。

③ お好みのセルフタイマー設定を選び、そのアイコンにタッチします。

選択したストロボアイコンが表示されます。

それぞれのセルフタイマーの設定は以下のとおりです。

[OFF] ： セルフタイマーを設定しません。（初期設定）

[2] ： 2秒後に撮影されます。

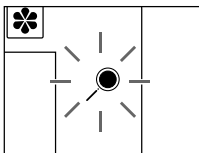
[10] ： 10秒後に撮影されます。

> メモ ・セルフタイマー設定は、セルフタイマーで撮影を行うか、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働くと解除されます。

● デジタルズーム撮影する ●

デジタルズームとは、画面中央を拡大して見かけ上の倍率をあげる機能です。
デジタルズームの倍率が上がると、画質が粗くなります。

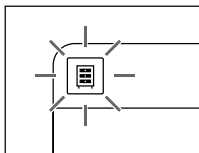
撮影モードの状態で・・・

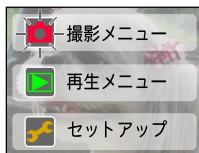
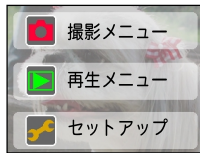
☞ モードを切り換える ➲ 23ページ

① [ ] ズームキーにタッチします。

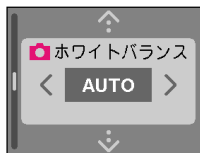
液晶モニターに「x2」と表示され、画面中央が２倍に拡大されます。

[ ] ズームキーを押すと、下の図のように２倍→４倍→ズームなしの順で切り換わります。

メモ ・デジタルズームは、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働くと解除されます。

撮影に関する設定を行います。カラー、ISO 感度、露出補正、ホワイトバランスは電源を切ったりオートパワーオフ機能が働くと初期設定に戻ります。

① [ ]メニューキーにタッチします。

メニューアイコンが表示されます。
メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

② [ ] 撮影メニューにタッチします。

撮影メニューが表示されます。
撮影メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

[ ]、[ ] にタッチすると設定する項目が１つずつスクロールして表示されます。
撮影メニューの項目は以下の通りです。

カラー

撮影する画像のカラーを設定します。

[ ] ：カラー画像で撮影します。（初期設定）
[ ] ：白黒画像で撮影します。
[ ] ：セピア画像で撮影します。

ISO 感度

ISO 感度は数字が増えるほど感度が上がります（少ない光でも明るく撮影できます）が、同時にノイズも増えます。

[100] ：ISO100 相当の感度で撮影します。（初期設定）
[200] ：ISO200 相当の感度で撮影します。
[400] ：ISO400 相当の感度で撮影します。

露出補正

このカメラは自動的に露出（絞りとシャッタースピードの組み合わせ）を決定して画像の明るさを調節しますが、画面の中に極端に明るい部分や暗い部分があると、目的の被写体が暗すぎたり明るすぎたりすることがあります。
これを補正するのが露出補正機能です。
＋，−にタッチすると、１ずつ補正値が増減します。補正値の最大値は +3 、最小値は − ３ 、初期設定は ０ です。効果のある被写体と設定値は次のとおりです。

● 撮影メニューの設定を変更する（つづき）●

＋補正
- 白っぽい紙に黒い文字が書かれている印刷物
- 逆光での人物撮影
- スキー場などの明るい場所や反射が強いとき
- 画面内の大部分を空が占めるとき

－補正
- スポットライトを浴びた人物（特に背景が暗いとき）
- 黒っぽい紙に白い文字が書かれた印刷物
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低いとき

ホワイトバランス

人間の目は、照明が変化しても白い被写体は白く見えるという順応性を持っています。しかし、カメラなどでは被写体の周辺の光の色に合わせて色のバランスを調整する必要があります。この色の調整のことを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。ここでは、特定の照明で撮影するときのホワイトバランスを設定します。

[＜]、[＞] で適正なホワイトバランスを選択し、設定します。

[AUTO]：自動で調整します。（初期設定）
[☀]：屋外（はれ）での撮影。
[1]：クールホワイト色蛍光灯下での撮影。
[2]：標準色蛍光灯下での撮影。
[💡]：白熱灯下での撮影。
[☁]：屋外（くもり）での撮影。

画質

画質を設定します。

[ ]：ハイクオリティ　1600x1200 サイズで高画質。
[ ]：スタンダード　1600x1200 サイズで通常の画質。（初期設定）
[ ]：エコノミー　800x600 サイズで通常の画質。

プレビュー

撮影後のプレビュー画面のオン / オフを設定します。

[ ]：プレビュー画面をオンに設定します。（初期設定）
[ ]：プレビュー画面をオフに設定します。

液晶の明るさ

液晶モニターの明るさを設定します。

[ ]：液晶モニターを暗めに設定します。
[ ]：液晶モニターを通常の明るさに設定します。（初期設定）
[ ]：液晶モニターを明るめに設定します。

● 再生する ●

① **電池と SD カードをカメラに入れ、電源を入れます。**

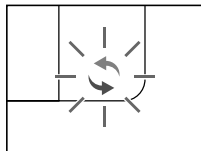
撮影モードで起動します。

② **再生モードにします。**

[ ] モードキーにタッチします。

☞ モードを切り換える ➲ 23 ページ

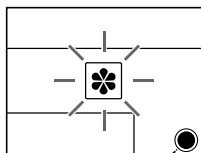
最後に撮影された画像が表示されます。

[ ]、[ ] で前後の画像を 1 つずつ再生できます。

再生インフォメーションを表示する

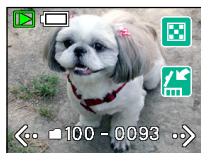
再生インフォメーションを表示すると、画像の詳細情報が表示されます。また、画像の一覧表示（サムネイル表示）や画像の消去も、再生インフォメーションを表示してから行います。

☞ 画像を一覧表示（サムネイル表示）する ➲ 35 ページ
☞ 画像を消去する ➲ 36 ページ

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 23 ページ

① **[✽] ディスプレイキーにタッチします。**

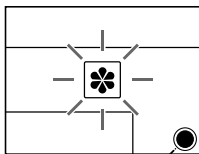
再生インフォメーションが表示されます。もう一度 [✽] ディスプレイキーを押すと、再生インフォメーションが非表示になります。

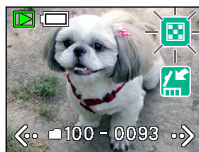
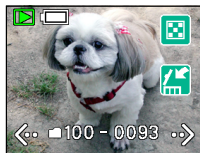
メモ

- 最後の画面が表示されているときに [ ] にタッチすると、最初の画像が表示されます。最初の画像が表示されているときに [ ] にタッチすると、最後の画像が表示されます。
- 再生インフォメーションが表示されていないときは、画像の右端および左端をタッチすると前後の画像を表示することができます。

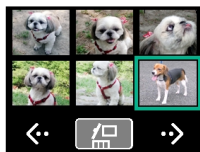
● 画像を一覧表示(サムネイル表示)する ●

6つの画像を一画面に表示します。これをサムネイル表示といいます。画像が多いとき、目的の画像を素早く探すことができます。

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 23ページ

① [✽] ディスプレイキーにタッチします。

再生インフォメーションが表示されます。初期設定ではすでに表示されていますので、この操作は不要です。

② [ ] サムネイルアイコンにタッチします。

画像が一覧表示(サムネイル表示)されます。

画像にタッチするとその画像が選択された状態になります。選択された画像にもう一度タッチすると、その画像が全画面表示になります。

画像が7つ以上ある場合は、[ ]、[ ] にタッチすると、画面がスクロールして他の画像を見ることができます。

[ ] にタッチすると、選択されている画像を消去することができます。

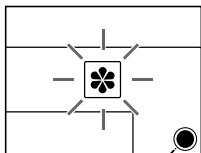
☞ 画像を消去する ➲ 36ページ

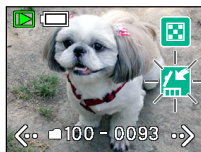
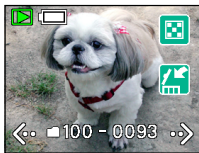
・サムネイル表示は電源を切ったり、オートパワーオフ機能が働くと解除されます。

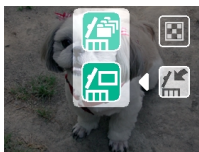
● 画像を消去する ●

撮影した画像の消去を行います。

再生モードの状態で・・・

☞ モードを切り換える ➲ 23ページ

① [✽] ディスプレイキーにタッチします。

再生インフォメーションが表示されます。初期設定ではすでに表示されていますので、この操作は不要です。

② [ ] 消去アイコンにタッチします。

消去選択アイコンが一覧表示されます。もう一度 [ ] 消去アイコンにタッチすると、一覧表示が消えます。

[ ] : 全画像消去

すべての画像およびフォルダを消去します。このアイコンにタッチすると画面中央に「すべての画像を消去しますか？」と表示されます。

消去する時は[ ]、消去しないときは[ ]にタッチしてください。[ ]にタッチすると再確認画面が表示されます。

消去を行うときは[**はい**] 、行わないときは[**いいえ**]にタッチしてください。

[ ] : 1画像消去

現在表示されている画像を消去します。このアイコンにタッチすると画面中央に「この画像を消去しますか？」と表示されます。

消去する時は[ ]、消去しないときは[ ]にタッチしてください。

重要

・プロテクト（誤消去防止）されている画像は消去できません。

☞ プロテクト ➲ 39ページ

・SDカードのライトプロテクトタブが「LOCK」になっているときは、画像の消去ができません。

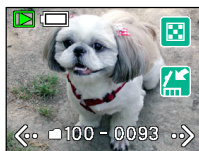
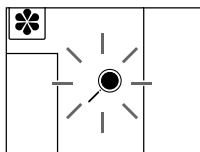
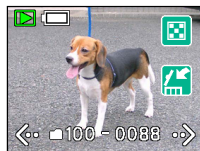
☞ SDカードについて ➲ 14ページ

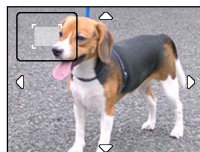
準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

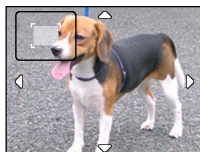
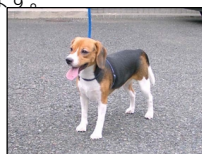
● ズーム再生する ●

画像を拡大して再生します。

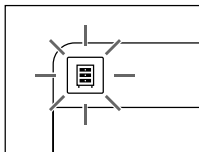
再生モードの状態で・・・

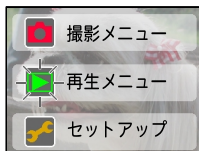
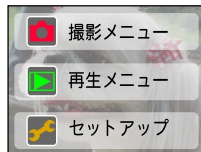
☞ モードを切り換える ➲ 23 ページ

① [<··]、[··>] にタッチして拡大したい画像を表示します。

② [🔍] ズームキーにタッチします。

2 倍に拡大された画像が表示されます。

画面の左上に表示された黒枠は画像全体を示し、その中の四角い部分は現在液晶モニターに表示されている部分を示します。
[△]、[▽]、[◁]、[▷] にタッチすると画面に表示される部分が移動します。

[🔍] ズームキーを押すと、下の図のように 2 倍→ 4 倍→ズームなしの順で切り換わります。

メモ ・電源を切ったりオートパワーオフ機能が働くと、ズーム再生は解除されます。

● 再生メニューの設定を変更する ●

再生に関する設定を行います。スライドショー以外の設定は、電源を切ったりオートパワーオフが働いても解除されません。スライドショーは電源を切ると解除されます。

① [ ]メニューキーにタッチします。

メニューアイコンが表示されます。
メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

② [ ]再生メニューにタッチします。

再生メニューが表示されます。
再生メニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

[ ]、[ ] にタッチすると設定する項目が一つずつスクロールして表示されます。
再生メニューの項目は以下の通りです。

液晶の明るさ

液晶モニターの明るさを設定します。

[ ] ：液晶モニターを暗めに設定します。
[ ] ：液晶モニターを通常の明るさに設定します。（初期設定）
[ ] ：液晶モニターを明るめに設定します。

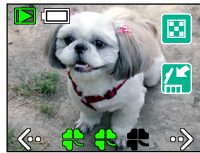
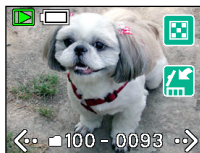
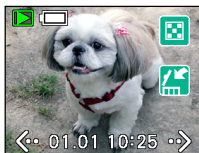
DPOF (Digital Print Order Format)

DPOF とは、プリントのための情報を直接 SD カードなどのメディアに記録することを定めた規格です。DPOF についての詳しい説明は、40 ページをご覧下さい。

☞ DPOF を設定する ➲ 40 ページ

表示の切換

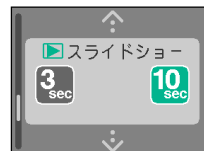
再生画面の下側に表示されるインフォメーションを切り換えます。

[ ] ：撮影した日時を表示させせます。
[ ] ：フォルダ番号とファイル番号を表示させせます。（初期設定）
[ ] ：画質を表示させせます。

スライドショー

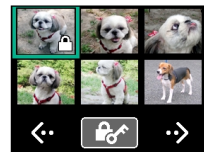
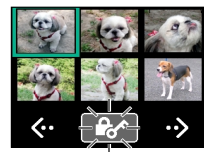
SD カードに入っている画像を順番に表示します。

[ ] ：3 秒間隔で画像を順番に表示します。
[ ] ：10 秒間隔で画像を順番に表示します。

スライドショーの実行中に、タッチパネルにタッチすると、スライドショーが解除されます。
スライドショーの実行中は、オートパワーオフが働きません。

☞ オートパワーオフ ➲ 47 ページ

プロテクト

画像の誤消去を防止します。画面中央の[設定する]をタッチすると、設定画面が表示されます。
画像を選択して[ ]にタッチすると画像がプロテクトされます。
画像がプロテクトされると、画面に [ ] プロテクトアイコンが表示されます。フォーマットするとプロテクトされている画像も消去されます。ご注意ください。
プロテクトを解除するには、プロテクトされた画像を選択して[ ]にタッチします。

☞ SD カードをフォーマットする ➲ 48 ページ

準備する
撮影する
再生／消去する
パソコンに接続する
その他
付録

DPOF (Digital Print Order Format)

DPOF とは、プリントのための情報を直接 SD カードなどのメディアに記録することを定めた規格です。DPOF 形式に対応したファイルは、DPOF 形式に対応したプリンターやラボプリントサービスで簡単にプリントすることができます。

① **中央の [設定する] にタッチします。**

SD カードの中の画像がサムネイル表示されます。それぞれの画像には、プリントされる枚数が表示されます。

② **画像にタッチして選択します。**

③ **−と＋でプリントする枚数を決めます。**

どの画像も選択されていないときは、設定されているプリント枚数の合計と [オール] が画面の下に表示されます。[オール] にタッチすると全画像を選択できます。

画像が選択されているときは、[クリア] が画面の下に表示されます。[クリア] にタッチすると、選択されている画像のプリント枚数が 0 になります。 1 つの画像が選択されているときに、その画像に再びタッチすると、選択が解除されます。
プリントしたい画像すべてに枚数を指定したら [ ] メニューキーにタッチして、再生メニューに戻ってください。

・枚数設定は、画像ごとに 0 枚から 99 枚の範囲で設定できます。ただし、設定合計枚数は 999 枚までに限られます。
・このカメラは PRINT Image Matching に準拠しています。PRINT Image Matching とは対応プリンターと組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現するシステムです。

● 接続するパソコンについて ●

お使いのパソコンには以下のシステム構成が必要となります。インストールする前にお確かめください。画像を扱う場合、ハードディスクの空き容量は十分に余裕を持ってお使いください。

システムに最小限必要なもの

	Windows をお使いの場合	Macintosh をお使いの場合
CPU	Pentium 以上のプロセッサ	Power PC G3 プロセッサ 266MHz 以上を推奨
OS	Windows98/2000/ME/XP プレインストールパソコン	Mac OS 9.0 以降
メモリー	64MB 以上	
ハードディスクの空き容量	20MB 以上を推奨	
カラーモニター	256 色 (800X600 ドット以上 32,000 色以上を推奨)	
必要なデバイス	CD-ROM ドライブ・USB ポート標準装備	

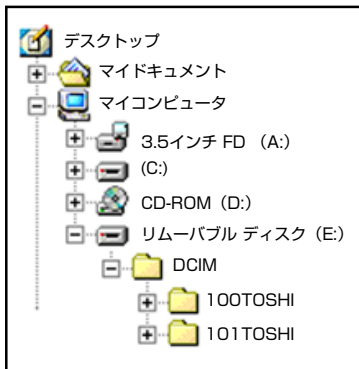
ファイルの構造

撮影した画像は、右の図の「XXXTOSHI」フォルダに保存されます。(右の図は一例です)
(XXX は 100 ～ 999 の数字)

ファイル名は「PDR＿XXXX.jpg」です。
(XXXX は 0001 ～ 9999 の数字)

拡張子の「.jpg」は JPEG ファイルであることを意味します。

JPEG とは、カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式のことです。圧縮率を選択できますが、圧縮率が高いと画質が劣化します。このカメラでは、設定した画質によって圧縮率が決定します。

JPEG はパソコン用の画像ソフトやインターネット上で広く使われているファイル形式です。

撮影した画像は Exif フォーマットで保存されます。

Exif とは、Exchangeable Image File Format の略で、JEITA（電子情報技術産業協会）に承認されたデジタルスチルカメラ用のカラー静止画像フォーマットのことで、サムネイル画像（一覧画像）や撮影時の設定データを含む JEPG データです。TIFF（画像のフォーマットの 1 つ）や JPEG と互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができます。

● 画像閲覧ソフトをインストールする ●

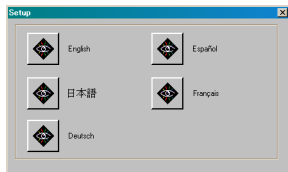
パソコンで画像を見るためのソフトウェア、「Image Expert」をインストールします。

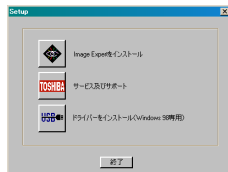
＜Windows の場合＞

対応 OS は、Windows 98/2000/ME/XP です。

① 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入する。

表示言語を選択する画面が表示されます。

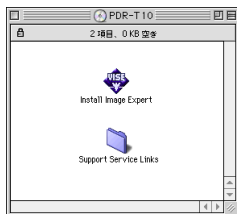
② 「日本語」をクリックする。

③ 「Image Expert をインストール」をクリックする。

画面の指示にしたがって、Image expert をインストールしてください。

＜Macintosh の場合＞

対応 OS は、Mac OS 9.0 以上です。

① 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入する。

② [Install Image Expert] アイコンをダブルクリックする。

表示言語を選択する画面が表示されます。

③ 「Japanese」を選択し「OK」をクリックする。

● USB ドライバをインストールする ●

付属の USB ケーブルで初めてパソコンと接続するときは、USB ドライバのインストールが必要です。USB ケーブルを接続する場合は端子の向きにご注意ください。

< Windows の場合>

対応 OS は、Windows 98 /2000/ME/XP です。Windows 98 をお使いの場合は、付属の CD-ROM に収録されている USB ドライバをインストールしてください。

Windows 2000 /ME /XP をお使いの場合は、各 OS の標準ドライバをインストールしてください。

< Windows 98 の場合>

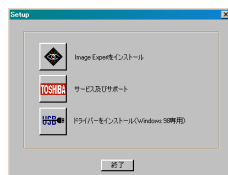
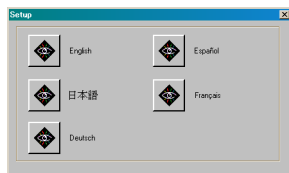
① 添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入する。

表示言語を選択する画面が表示されます。

② 「日本語」をクリックする。

③ 「ドライバをインストールする」をクリックします。

画面の指示にしたがってドライバをインストールしてください。

インストール終了後は、パソコンの再起動を行ってください。

< Windows 2000 /ME /XP の場合>

① パソコンとカメラを起動します。

② パソコンとカメラを付属の USB ケーブルで接続します。

パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子に USB ケーブルを接続します。

③ 画面の指示に従って、USB ドライバをインストールします。

< Macintosh の場合>

対応 OS は、Mac OS 9.0 以上です。

このカメラは、USB Mass Storage Class に準拠しています。Mac OS 9.0 以上では、USB Mass Storage Class に準拠したドライバが組み込まれていますので、USB ドライバのインストールは必要ありません。

● パソコンにカメラの画像を転送する ●

画像閲覧ソフト「Image Expert」を起動して、カメラの画像をパソコンに転送します。

重要
- 画像転送中にカメラの電源が切れるとデータが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続する場合は、AC アダプター（別売）のご使用をおすすめします。
- カメラがパソコンに接続されている場合、オートパワーオフ機能は動作しません。
- 転送終了後に USB ケーブルをはずしたり、SD カードを取り出したりする場合は、使用する OS に応じて取り外し作業を行ってください。

＜ Windows の場合＞

Image Expert と USB ドライバをインストールしていない場合は、まず Image Expert と USB ドライバのインストールを行ってください。

☞ 画像閲覧ソフトをインストールする ➲ 42 ページ
☞ USB ドライバをインストールする ➲ 43 ページ

① パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。

パソコンとカメラを両方起動させた状態で USB ケーブルを接続させると、パソコンがカメラを自動的に認識します。USB ケーブルを接続するときは端子の向きにご注意ください。

② Image Expert を起動します。

Windows の「スタート」ボタンから「プログラム」→「Image Expert 」をクリックします。

③ メニューバーの「カメラ」→「接続の設定」をクリックします。

④ 接続先を「USB 」にして「OK 」をクリックします。

⑤ ツールバーの[ ] をクリックします。

「アルバム選択」画面でアルバムを選択するか新しいアルバム名を入力して「開く」をクリックすると、指定したアルバムに画像がダウンロードされます。

メモ
- Image Expert の詳しい説明については、ヘルプファイルをご覧ください。

● パソコンにカメラの画像を転送する（つづき）●

＜ Macintosh の場合＞

Image Expert をインストールしていない場合は、まず Image Expert のインストールを行ってください。

☞ 画像閲覧ソフトをインストールする ➲ 42 ページ

① パソコンとカメラを USB ケーブルで接続します。

パソコンとカメラを両方起動させた状態で USB ケーブルを接続させると、パソコンがカメラを自動的に認識します。USB ケーブルを接続するときは端子の向きにご注意ください。

② Image Expert を起動します。

「Image Expert 」フォルダを開き、「Image Expert 」アイコンをダブルクリックします。

③ メニューバーの「カメラ」→「接続の設定」をクリックします。

④ 接続先を「USB 」にして「OK 」をクリックします。

・他の USB 機器と同時に使用すると、カメラ内の SD カードがデスクトップにマウントされない場合があります。この場合は、カメラだけ接続してください。

⑤ メニューバーの「カメラ」→「画像を見る」をクリックします。

⑥ パソコンに取り込みたい画像を、「OPTION 」キーを押しながらクリックします。

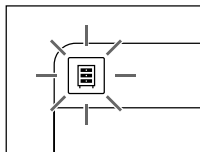
⑦ [ ] をクリックします。

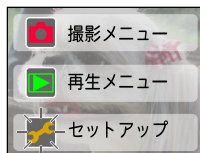
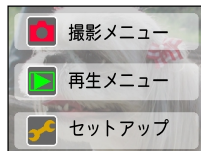
「アルバム選択」画面でアルバムを選択するか新しいアルバム名を入力して「開く」をクリックすると、指定したアルバムに画像がダウンロードされます。

⑧「選択」をクリックします。

メモ ・Image Expert の詳しい説明については、ヘルプファイルをご覧ください。

● カメラの基本設定を変更する ●

画像に対する設定、およびカメラの環境設定などを行います。セットアップメニューの設定は、電源を切ったりオートパワーオフ機能が働いても解除されません。

① [ ] メニューキーにタッチします。

メニューアイコンが表示されます。
メニューから抜けるには、[ ] メニューキーにタッチします。

② [ ] セットアップにタッチします。

セットアップメニューが表示されます。
セットアップメニューから抜けるには、[ ]メニューキーにタッチします。

[ ]、[ ] にタッチすると設定する項目が1つずつスクロールして表示されます。
セットアップメニューの項目は以下の通りです。

リセット

日時、言語以外の設定を工場出荷時の設定に戻します。

LANGUAGE

表示される言語を設定します。
[<]、[>] で言語を選んでください。

自動モード切換

撮影後、シャッターボタンから指を離して設定した時間が経過すると再生モードに切り換わります。これを「自動モード切換機能」といいます。
再生モードに移行する時間を設定してください。2 ～ 30 秒の間で設定できます。
オフにすることもできます。（初期設定）
[<]、[>] でお好みの設定時間をお選びください。

日時設定

日付と時刻を設定します。
日時設定については、「日付・時刻を合わせる」（22 ページ）をご覧ください。

サウンド

キーおよびアイコンをタッチしたときに、操作音のオン / オフを設定します。

[🔊] ：操作音を鳴らします。（初期設定）
[🔇] ：操作音を鳴らしません。

タッチセンサー

再生モードのときに撮影しようとしてシャッターボタンに触れると撮影モードに切り換わります。これを「タッチセンサー機能」といいます。

[👆] ：タッチセンサーをオンにします。
[⊘] ：タッチセンサーをオフにします。（初期設定）

オートパワーオフ

オートパワーオフとは、一定の時間何の操作もしないと電池の消耗を防ぐために電源が切れた状態になる機能です。動作状態に戻すには、POWER スイッチをスライドしてください。

[1min] ：1 分間操作しないとオートパワーオフになります。（初期設定）
[2min] ：2 分間操作しないとオートパワーオフになります。
[3min] ：3 分間操作しないとオートパワーオフになります。

バージョン情報

ファームウェアのバージョンを表示します。
ファームウェアとは、カメラの動作を制御しているソフトウェアのことです。ファームウェアはあらかじめカメラ内に組み込まれています。バージョン情報が表示された状態でタッチパネルにタッチすると、セットアップメニューに戻ります。

フォーマット

SD カードをフォーマット（初期化）します。
フォーマットについての詳しい説明は、48 ページをご覧下さい。
☞ SD カードをフォーマットする ➲ 48 ページ

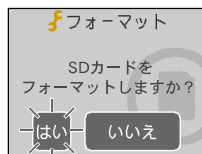
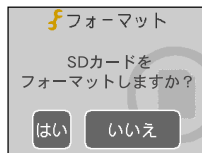
SD カードのフォーマット（初期化）を行います。

セットアップメニュー画面で・・・

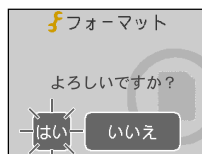
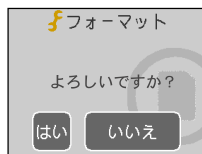
☞ カメラの基本設定を変更する ➲ 46 ページ

① [⇡]、[⇣] タッチしてフォーマット選定画面を表示させます。

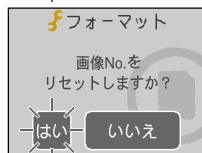
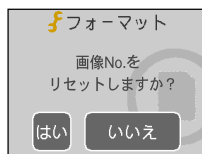
② 中央のフォーマットするにタッチします。

中央に「SD カードをフォーマットしますか？」と表示されます。

③ [はい] にタッチします。

フォーマットを行わない場合は、[いいえ] にタッチしてください。

[はい] にタッチすると、中央に「よろしいですか？」と表示されます。

④ [はい] にタッチします。

フォーマットを行わない場合は、[いいえ] にタッチしてください。

[はい] にタッチすると、中央に「画像 No. をリセットしますか？」と表示されます。

⑤ [はい] または [いいえ] にタッチします。

[はい] にタッチすると、次回の撮影のときに画像 No. が 0001 から始まります。

- SD カードをフォーマットするとプロテクトされている画像も消去されます。ご注意ください。
- SD カードがロック状態のときは、SD カードのフォーマットができません。

☞ SD カードについて ➲ 14 ページ

仕様

型名	PDR-T10
撮像素子	1/2.7 インチ CCD センサー（有効画素数：約 201 万画素）
撮像感度	ISO100/200/400　相当
レンズ	単焦点レンズ F3.1/F8
焦点距離	f=5.96mm（35mm カメラ換算 38mm 相当）
オートフォーカス	TTL 方式 AF 焦点調整範囲：20cm 〜∞　検出方式：コントラスト
測光方式	撮像方式による TTL 測光方式
露出制御方式	プログラム自動露出（露出補正可）
シャッター	1 〜 1/500 秒
ホワイトバランス	自動 / 切り換え可能（屋外（はれ）、クールホワイト色蛍光灯、標準色蛍光灯、白熱灯、屋外（くもり））
撮影範囲	標準：約 40cm 〜∞　マクロ：約 20cm 〜∞
セルフタイマー	2 秒 / 10 秒切り換え
ストロボ	オート / 赤目軽減オート / 赤目軽減強制発光 / 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ 調光方式：自動調光制御 撮影範囲：約 0.4 〜 2.0m
日付･時刻	画像データに同時記録（Exif ファイルフォーマット）
自動カレンダー機能	2037 年までは自動調整
液晶モニター	1.6 インチ TFT カラー液晶（61380 画素）
入出力端子	DCIN 端子：DC5V　DIGITAL 端子：USB（Ver.1.1、Mass Storage Class 準拠）
電源	単三形 電池 2 本（ニッケル乾電池、ニッケル水素電池、リチウム電池）、または CR-V3 リチウム電池パック 1 本 別売の AC アダプター（PDRーAC20）
記録媒体	SD メモリーカード 8/16/32/64/128/256MB 対応
圧縮方式	JPEG 準拠
画像ファイルフォーマット	Exif Ver.2.1 準拠
互換ルール	DCF Ver.1.0 準拠
使用環境	動作温度：＋ 5 ℃〜＋ 40 ℃ 保存温度：－ 20 ℃〜＋ 60 ℃ 湿度:30 〜 80 % 結露しないこと
外形寸法	85.5 × 72 × 27.9mm （幅 / 高さ / 奥行き）突起部を除く
質量	約 120 g（付属品､電池､SD カード含まず）

撮影可能枚数

画質モード	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB
ハイクオリティ	6	14	30	62	126	253
スタンダード	12	28	59	122	248	495
エコノミー	51	106	224	460	931	1854

被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため撮影可能枚数は必ずしも表の通りではありません。

● 別売アクセサリー ●

ACアダプターおよびフェースパッドを別売アクセサリーとしてご用意しております。別売アクセサリーを使うと、より便利に、より楽しくカメラを使うことができます。別売アクセサリーをお買い求めの際は、ホームページまたはカタログをご覧ください。

● ACアダプター

PDR-AC20

家庭用コンセントでご使用になれます。

ご使用の前に、「ACアダプターについて」(➲13ページ)、「ACアダプターを使う」(➲19ページ)をお読みください。

詳細についてはACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

●フェースパッド

PDR-KFP 1（4枚入り）
PDR-KFP 2（4枚入り）

フェースパッドのつけ換え方法は、「フェースパッドをつけ換える」(➲17ページ)をご覧ください。

フェースパッドの色・柄・種類につきましては、ホームページでご確認ください。

東芝デジタルスチルカメラホームページ
http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

● 警告メッセージ ●

液晶モニターには、次のような警告を表わすメッセージが表示されます。

＜撮影モードのとき＞

メッセージ	意味
	電池の残量が半分以下
	電池の残量がわずか
	電池切れ
⚠ カードがありません	SD カードが入っていません。
⚠ カードが一杯です	SD カードの空き容量がないので、撮影できません。
⚠ カードエラー	SD カードのフォーマット（初期化）が正しく行われていません。 SD カードが壊れています。
⚠ 書き込み禁止	SD カードがロックされ、撮影できない状態です。
⚠ 未フォーマット	SD カードがフォーマットされていません。 （フォーマット実行画面に移ります。）
⚠ 一杯です	フォルダ番号・ファイル番号が最大値になった状態です。
⚠ フォルダエラー	同一番号のフォルダが存在しています。
⚠ 日時設定が完了していません	日時設定を行っていないまたは解除された状態です。
⚠ 非対応のカードです	MultiMediaCard™（マルチメディアカード）が挿入されています。

＜再生モードのとき＞

メッセージ	意味
	電池の残量が半分以下
	電池の残量がわずか
	電池切れ
⚠ カードがありません	SD カードが入っていません。
⚠ カードが一杯です	SD カードの空き容量がないので、撮影できません。
⚠ カードエラー	SD カードのフォーマット（初期化）が正しく行われていません。 SD カードが壊れています。
⚠ 未フォーマット	SD カードがフォーマットされていません。 （フォーマット実行画面に移ります。）
⚠ データ不一致	このカメラ以外で撮影した画像を再生しようとしています。
⚠ フォルダエラー	同一番号のフォルダが存在しています。
⚠ 画像がありません	SD カードのなかに画像が何も入っていません。
⚠ 画像がプロテクトされています	プロテクトされている画像を消去しようとしています。
⚠ カードがプロテクトされています	SD カードがロックされている状態です。
⚠ DPOF エラー	DPOF 情報が異常です。

● Q&A ●

よくいただくご質問をまとめましたので、参考にしてください。

Q シャッターボタンを押してもすぐに撮影できません。

A ハーフシャッターを使っていますか？ このカメラは、ハーフシャッターによって、フォーカスと露出を合わせます。ハーフシャッターを行わずにいきなりシャッターボタンを押しこむと、カメラはまず、フォーカスと露出を合わせようとします。そして適正値が見つかったところで撮影を行うので、シャッターボタンを押してから実際に撮影されるまでに時間差が生じます。

シャッターチャンスを逃さないためにも、ハーフシャッターのご使用をおすすめします。ハーフシャッターについては、24 ページの「撮影する」をお読みください。

Q ピントがうまく合わないのですが。

A このカメラでは正確なオートフォーカス機構を採用しておりますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わないことがあります。

- 高速で移動する被写体
- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき（背景と同じ色の服を着ている人など）
- 被写体の手前や後方に物体があるとき（オリの中の動物や木の前の人など）
- 髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- ガラス越しの被写体

また、画面中央にピントを合わせているため、2 人並んだ人物のように中央に被写体がない場合は、背景にピントが合ってしまって人物がボケる可能性があります。このようなときは、以下のように撮影をおこなってください。

1) 2 人の人物のうち、どちらかが画面の中央にくるようにカメラを動かします。
2) この状態でハーフシャッターを行います。（このとき人物にピントが合います）
3) ハーフシャッターの状態のまま、撮影したい構図に戻します。
4) 撮影します。

ピントが合わない場合は、無限遠（ストロボ使用時は約 1.5m ）の位置にピントを固定します。

Q メールに添付するために、画像を小さくして保存したいのですが。

A メールに画像を添付して送る場合は、必要以上に画像サイズを大きくするのは避けたいものです。画像サイズを小さくして保存するには、付属の画像閲覧ソフト「Image Expert」を使用します。「Image Expert」のインストールについては、42 ページの「画像閲覧ソフトをインストールする」をお読みください。

1)「Image Expert」を起動します。
2) メニューの「ファイル」→「画像を開く」をクリックします。
3) 小さくしたい画像を指定して「開く」をクリックします。
このとき USB でカメラを接続しているとリムーバブルディスクとして表示されます。リムーバブルディスクを指定すればカメラの中の画像を直接開くこともできます。
4) メニューの「画像」→「サイズ変更」をクリックします。
5)「幅」と「高さ」に数字を入力して「OK 」をクリックします。このとき「アスペクト比を保持」がチェックされていると、画像の縦横比を変えずに画像サイズの変更を行うことができます。
6) サイズ変更された画像が表示されます。
7) メニューの「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックし、サイズ変更した画像を保存します。

Q 画像を修正しようとしたのですがうまくいきません。

A せっかく撮影した画像が自分が思っていたよりも明るすぎたり暗すぎたり、色が自分の好みに合っていなかったり。このような経験をお持ちの方もいらっしゃることと思います。デジタルスチルカメラで撮影した画像は自分の好みに合わせて修正することができますが、慣れていないとなかなかうまくいかないものです。しかし、付属の画像閲覧ソフト「Image Expert」には自動修正機能が付いておりますので、どなたでも簡単に画像の修正を行うことができます。

1) Image Expert を起動します。
2) 修正したい画像を開きます。
3) メニューの「画像」→「自動修正」をクリックします。
4) 修正した画像を保存します。

● 故障かな？と思ったら ●

液晶モニターに表示される警告（➲ 51 ページ)、インジケーター（➲ 16 ページ)などを確認するとともに、次の項目をお調べください。

状況	原因	対処方法	ページ
電源が入らない	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。	18
	AC アダプターの電源プラグが、コンセントから外れている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	19
電源が途中で切れる	マンガン電池を使用している。	推奨電池を使用してください。	12
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。	18
電池の消耗が早い	アルカリ電池を使用している。	推奨電池を使用してください。	12
	温度が極端に低いところで使っている。	電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。	12
	端子が汚れている。	電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	―
	電池の寿命	新しい電池と交換してください。	18
シャッターボタンを押しても撮影できない	SD カードが入っていない。	SD カードを入れてください。	20
	SD カードに空き容量がない。	新しい SD カードを入れてください。 撮影した画像を消去して空き容量を増やしてください。	20 36
	SD カードが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態を解除してください。 新しい SD カードと交換してください。	14 20
	SD カードがフォーマットされていない。	SD カードをフォーマットしてください。	48
	SD カードが壊れている。	新しい SD カードを入れてください。	20
	オートパワーオフ機能が働いている。	POWER スイッチをスライドさせてオートパワーオフ状態を解除してください。	47

状況	原因	対処方法	ページ
ストロボ撮影ができない	ストロボが発光禁止に設定されている。	発光禁止以外の設定にしてください。	28
	ストロボの充電中にシャッターボタンを押した。	充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	28
ストロボが設定できない	シーンモードが設定されている。	シーンモードの設定をオートなどにしてください。	26
ストロボが発光したのに再生画像が暗い	被写体が遠い。	被写体に近づいてください。	28
再生画像がぼやけている	レンズが汚れている。	レンズを清掃してください。	11
	撮影した画像のピントが合っていない。	被写体の距離に応じて、マクロ撮影を行ってください。	27
SD カードのフォーマットができない	SD カードが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態を解除してください。	14
1 画像消去ができない	画像がプロテクトされている。	画像のプロテクトを解除してください。	39
	SD カードが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態を解除してください。	14
設定した日時が消えている	電池を抜いて放置した。	電池を入れて日時を設定してください。	22

● アフターサービスについて ●

保証書

保証書はお買い上げいただいた販売店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に、まず取扱説明書をご覧になりながらお調べください。

☞「故障かな？と思ったら」➲ 54ページ

万一故障の場合は、お買い上げいただいた販売店またはモバイル AV サポートセンターにご相談ください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 修理部品の保有期間

補修用部品は、製造打ち切り後 8 年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください

・型名 PDR-T10 （sora T10 ）
・故障の状況（できるだけ詳しく）
・ご購入年月日（保証書をご覧ください）
・お名前
・ご住所
・電話番号

付属の CD-ROM の中に、サービスおよびサポートに関する情報が書かれたファイルが収録されています。取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。

ファイルを開くには、CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて言語選択画面で「日本語」をクリックしてあと、「サービス＆サポート」をクリックしてください。

● さくいん ●

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

東芝製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買い上げの販売店にお申し付けください。

【ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合は】
『東芝家電修理ご相談センター』：**0120-1048-41**（フリーダイヤル）
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
電話受付 ： 365日・24時間受付

【デジタルスチルカメラに関するお問い合わせ】
使い方、故障、アプリケーションソフト等
『モバイルAVサポートセンター』
電話番号：0570-05-7000
FAX : 03-3258-0470
受付時間 ： 月～土 10:00～20:00（祝祭日、年末年始を除く）
ホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

株式会社 **東芝**

モバイルAVネットワーク事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号
※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください

T10-0103